

Bass × Bassoon vol.1

～真夏の低音樂祭 イタリア音樂の夕べ～



薩摩研斗 (ピアノ)
Kento Satsuma
Piano



井垣旺士 (コントラバス)
Arato Igaki
Contrabass



松本拓也 (ファゴット)
Takuya Matsumoto
Bassoon

Programma

G. ロッシーニ: チェロとコントラバスのための二重奏曲
G. Rossini: Duetto per Violoncello e Contrabbasso

G. ボッテシーニ: クラリネットとコントラバスのためのデュエット
G. Bottesini: Duetto per Clarinetto e Contrabbasso

A. ヴィヴァルディ: 2本のチェロのための協奏曲 ト短調 RV531
A. Vivaldi: Concerto in Sol minore per 2 Violoncelli

G. ボッテシーニ: パッション・アモローサ
G. Bottesini: Passione Amorosa

他

お問い合わせ: bassandbassoon2025@gmail.com

協賛: コントラバス工房 角本

主催: Bass × Bassoon Production

2025.08.08 Fri.
OPEN 18:30 START 19:00

高槻城公園芸術文化劇場南館

太陽ファルマテックホール

チケット料金(全席自由)

一般 3,000円 学生 2,000円

【チケットご予約フォーム】

<https://forms.gle/o7x1QfrMniz7TGCa8>



チケット予約は
←こちらから



薩摩研斗(ピアノ)

薩摩研斗は2002年に神戸で生まれる。京都堀川音楽高等学校で指揮、ピアノ、ヴァイオリンを学び、京都市民管弦楽団や京都堀川音楽高等学校オーケストラの指揮を務める。指揮を高谷光信、藏野雅彦に、ピアノを麦谷和代、有馬みどりに師事する。2020年よりヤナーチェク芸術アカデミー(JAMU)にて、ピアノをヤン・イラスキー教授、指揮をロスティスラフ・ハリシュカ教授およびヤクブ・クレツケル准教授に師事。これまでに、カルロヴィ・ヴァリ指揮コンクールにて第3位、レオシュ・ヤナーチェク国際ピアノコンクールにて第3位、スメタナ国際ピアノコンクールにて第1位を受賞。モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団、ブラハ室内フィルハーモニー管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、チェコ各地のオーケストラと指揮者、ピアニストとして共演している。

井垣旺士(コントラバス)

2001年に生まれ、大阪で育ち、12歳の時にコントラバスと出会う。京都堀川音楽高校、京都市立芸術大学を経て現在ベルリン・ハンスアイスラー音楽大学に在学中。ベルリン・ドイツ交響楽団アカデミー生。佐渡裕とスーパーキッズオーケストラに在籍。現在スーパースtringスコーベメンバー。第3回泉の森コントラバスコンクール第2位。第22回大阪国際音楽コンクール第3位。Joseph Sammut Malta International Double Bass Competition第2位。2024年ボッテシーニ国際コントラバスコンクールセミファイナリスト。大阪フィルハーモニー交響楽団、ジャパン・ナショナル・オーケストラなどにエキストラとして出演。これまでに西口勝、黒川冬貴の各氏に師事。現在ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者Esko Laine氏の下で研鑽を積む。



松本拓也(ファゴット)

松本拓也は2001年に生まれ、大阪で育ち、12歳の時にファゴットと出会う。大阪府立豊中高等学校文理学科卒業。京都市立芸術大学音楽学部にてファゴットを中野陽一朗氏に師事し、2024年4月に卒業。現在はスイス・チューリッヒ芸術大学院に在学し、Matthias Racz氏に師事。16歳の時にテレビ朝日「題名のない音楽会」に出演。同番組内で指揮者・藤岡幸夫氏、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共演し、ソリストデビューを飾る。その後も阪哲朗、下野竜也各氏らの指揮の下、日本センチュリー交響楽団、京都市立芸術大学音楽学部・大学院管弦楽団と共演。これまでにGiorgio Mandolesi、Philipp Tutzer、Laurent Lefèvre、Matthias Racz、Stefano Canuti、Philipp Zeller各氏のマスタークラスを受講。(公財)青山音楽財団2023年度奨学生。(財)ヤマハ音楽振興会2025年度音楽奨学支援奨学生。